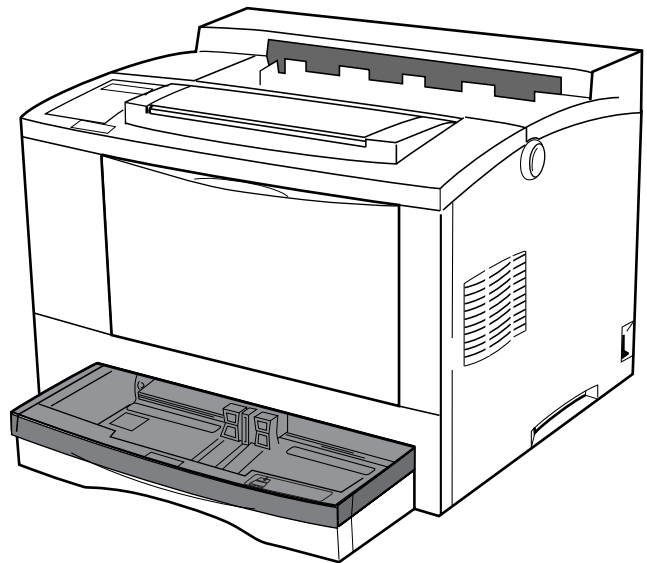


応用操作 編



モード設定について

モード設定機能は、印刷環境の設定を必要に応じて変更する機能です。

モード設定を行うには、操作パネルを使います。

モード設定では、操作パネルに印刷環境のメニューを表示して、設定を変更します。

次にメニューの構造と各項目のはたらきを示します。

セメントトレイサイズ

前面給紙トレイから給紙するときの用紙サイズを設定します。

コピーマウス

印刷部数を設定します。

タイムアウト

プリンター内に残っているデータを一定時間後に自動印刷します。

パワーセーフ

システム・ユニットから一定時間データが送られてこないときに、プリンターの定着器の電源を切ってパワー・セーブ・モードに入ります。

テストインサツ

テスト印刷をします。

トナーエント

トナーが残り少なくなったときに一時印刷を停止するかどうかを設定します。

ブザー

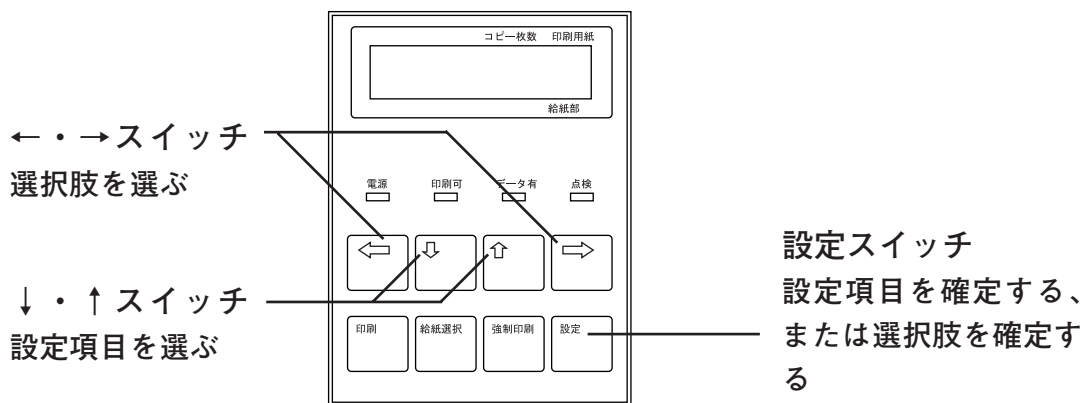
エラー発生時にブザー音を出すかどうかを設定します。

シュッカチニモト

各設定値を工場出荷値に戻します。

モード設定の基本操作

モード設定に使うスイッチ

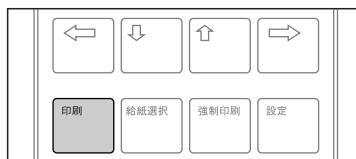


モード設定の流れ

モード設定の操作は、基本的に次のような流れで行います。

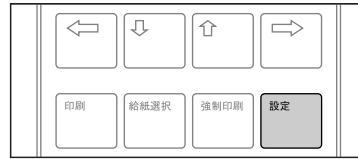
操作の手順

- 1 印刷不可状態にします。



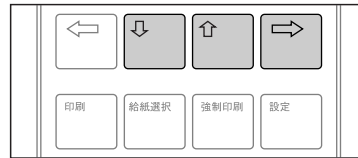
V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。



メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

- 3 設定項目を選びます。
↑スイッチ、または↓スイッチで
設定項目を選びます。→スイッチ
で確定します。



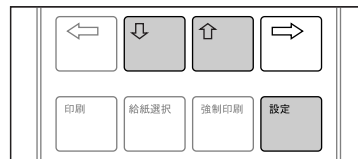
メニューコウモク
コピ°ーマイスウ



コピ°ーマイスウ
*ト”ライハ”ー

- 4 選択肢を選びます。
↑スイッチ、または↓スイッチで
選択肢を選びます。設定スイッチ
で確定します。

確定すると選択肢の前に*マークが付
きます。



コピ°ーマイスウ
*ト”ライハ”ー

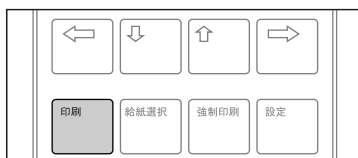
印刷可能状態に戻るには印刷スイッチを押してください。
続けて設定をする場合は←スイッチを押してモード設定の画面にします。
次に、各操作ステップの基本的な操作方法を説明します。なお、操作の詳細は、
各設定項目の説明を参照してください。

モード設定に入る

通常の印刷状態から、モード設定に入ります。

操作の手順

- 1 印刷不可状態にします。



V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。



メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”



ご注意

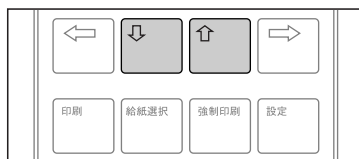
- データ有ランプが点灯または点滅しているとき
この状態（プリンター内にデータが残っている状態）では、モード設定に入れません。
すべてのデータが印刷されるまで待つか、強制印刷（「残ったデータを強制的に印刷するには」参照）または、リセット（「リセット、印刷の取り消しをするには」参照）を行ってください。
- プリンターがエラー状態のとき
この状態では、モード設定に入れません。
エラー状態を解除する方法については「異常時の診断」を参照してください。

設定項目を選ぶ

メニュー項目の中から、設定を変更したい項目を選択します。

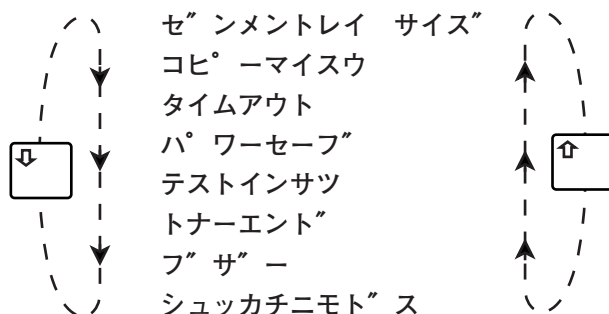
操作の手順

- 1 設定項目を選びます。
↑スイッチ、または↓スイッチで設定項目を選びます。
↓スイッチで降順、↑スイッチで昇順に設定項目の表示が切り替わります。

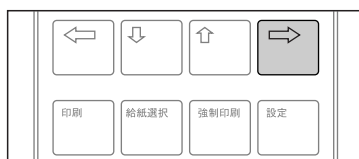


メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

表示部には、次の項目が順に表示され、最後（最初）の項目まで表示されると、最初（最後）の項目に戻ります。



- 2 →スイッチを押します。
選択技を選ぶモードになり、表示が右のように変わります。
*マークが付いているのが、現在選択されている選択肢です。



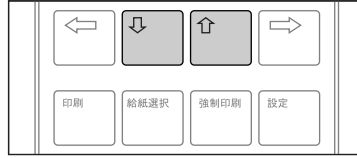
セ”ンメントレイ サイズ”
*ト”ライハ”

選択肢を選ぶ

選択した設定項目の選択肢を選びます。

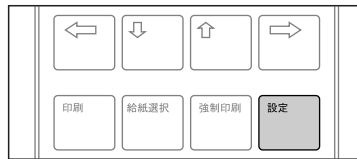
操作の手順

- 1 ↑スイッチ、または↓スイッチを押して、選択したい選択肢を表示します。



セ”ンメントレイ サイズ”
A 4

- 2 設定スイッチを押します。
選択肢の前に*マークが表示され
設定されたことを示します。



セ”ンメントレイ サイズ” A 4
* A 4

前面トレイサイズ [セメントレイサイズ]

前面給紙トレイから給紙するときの用紙サイズを設定します。

選択肢

ト”ライハ”ー	システム・ユニットからの設定に従います
A 3	
B 4	
A 4	
B 5	
A 5	
レター(LT)	
リーガル(LG)	
ハガキ(PC)	
フテイケイ(NS)	

工場出荷値 ト”ライハ”ー

MEMO

A 3、B 4、ハガキ、リーガルを選択した場合には、前面給紙トレイに用紙を縦置き方向にセットしてください。
A 4、A 5、B 5、レターを選択した場合には、用紙を横置き方向にセットしてください。
「フテイケイ」の場合には、設定した用紙サイズの縦／横に合わせて用紙をセットします。設定可能な範囲は、横が86～297mm、縦が148～420mmです。

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

- 3 →スイッチを押します。
前面トレイサイズを選択画面になります。

セ”ンメントレイ サイズ”
* ト”ライハ”ー

- 4 ↑・↓スイッチで設定したい選
択肢を表示します。
ここではA 4に設定します。

セ”ンメントレイ サイズ”
A 4

- 5 設定スイッチで確定します。

セ”ンメントレイ サイズ” A 4
* A 4

コピー枚数 [コピーミスウ]

文書のコピー枚数（同じページを何枚印刷するか）を設定します。

選択肢

ト"ライハ"ー
1 ~ 255

システム・ユニットからの設定に従います

工場出荷値

ト"ライハ"ー

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セメントレイ サイズ

- 3 ↑・↓スイッチで「コピーモード
マイスウ」を選択します。

メニューコウモク
コピーモード

- 4 →スイッチを押します。
コピー枚数の選択画面になります。

コピーモード
* トライハ

- 5 ↑・↓スイッチで設定したいコ
ピー枚数を表示します。
ここでは2枚に設定します。

コピーモード
2

- 6 設定スイッチで確定します。

コピーモード
* 2

タイム・アウト [タイムアウト]

システム・ユニットから一定時間データが送られてこなかったときに、プリンター内に残っているデータの印刷の取り消しを行うように設定します。印刷の取り消しまでの時間を30秒から60分まで設定できます。数値を指定した時間が経過すると印刷の取り消しを行います。

選択肢

30 ヒョウ
1 プン
5 フン
15 フン
30 プン
60 プン

工場出荷値 5フン

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

- 3 ↑・↓スイッチで「タイムアウト」を選択します。

メニューコウモク
タイムアウト

- 4 →スイッチを押します。
タイム・アウトの選択画面になります。

タイムアウト
* 5 フン

- 5 ↑・↓スイッチで設定したいタイム・アウト時間を表示します。

タイムアウト
6 0 フ°ン

ここでは60分に設定します。

- 6 設定スイッチで確定します。

タイムアウト
* 6 0 フ°ン

パワー・セーブ [パワーセーブ]

システム・ユニットから一定時間データが送られてこなかったときに、プリンター定着器の電源を切ってパワー・セーブします。

選択肢

OFF

2 フン

10 プン

30 プン

60 プン

工場出荷値 30 プン

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セメントレイ サイズ

- 3 ↑・↓スイッチで「パワーセーブ」を選択します。

メニューコウモク
パワーセーブ

- 4 →スイッチを押します。
パワーセーブまでの時間の選択画面になります。

パワーセーブ
* 3 0 フォン

- 5 ↑・↓スイッチで設定したいパワーセーブまでの時間を表示します。

パワーセーブ
6 0 フォン

ここでは60分に設定します。

- 6 設定スイッチで確定します。

パワーセーブ
* 6 0 フォン

テスト印刷 [テストインサツ]

テストパターンを印刷します。

次のような内容が印刷されます。

合計印字枚数
プログラムのバージョン
RAM容量
オプション・スロットの内容
解像度
トナーエンド設定
ブザー音設定
タイムアウト時間設定
パワーセーブ時間設定
前面トレイの設定と状態
給紙カセットの状態

選択肢

ありません。

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

- 3 ↑・↓スイッチで「テストインサツ」を選択します。
テストインサツの画面になります。

メニューコウモク
テストインサツ

- 4 設定スイッチを押すとテスト印刷を開始します。

テストインサツ
シ”ッコウチュウ



テスト印刷ではA 3, B 4, A 4, B 5, A 5, レター, リーガルのいずれかの用紙をセットして下さい。

テスト印刷の例

```

                                IBM 5587-WIN

TOTAL PRINT :0000001      FPT :ENABLE
ROM REVISION :1.00      -CASSETTE SIZE :DRV
RAM SIZE :2MB          -PAPER EMPTY :NO
SLOT :DISABLE
RESOLUTION :600DPI/7
CONFIG :8              TRY1:ENABLE
                                -CASSETTE SIZE :A4
                                -PAPER EMPTY :NO

TONERWARNING:---/CONTINUE
BUZZER :ON
JOB TIMEOUT :5MIN      TRY2:DISABLE
POWER SAVE :30MIN/ENABLE -CASSETTE SIZE :---
                                -PAPER EMPTY :---

TOTALENGINEPRINT:0000001
ERROR LOG : 001 201 203
    
```

トナー・エンド [トナーエンド]

トナーが残り少なくなったときに、一時印刷を停止するか印刷を継続するかどうかを設定します。

選択肢

ケイソク	EPカートリッジの交換メッセージを表示しながら印刷を継続します。
テイシ	EPカートリッジの交換メッセージを表示して点検ランプを点灯後、プリンターを停止します。 (新規の印刷要求を受け付けなくなります。)
工場出荷値	テイシ

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

- 3 ↑・↓スイッチで「トナーエン
ト”」を選択します。

メニューコウモク
トナーエント”

- 4 →スイッチを押します。
トナー・エンドの選択画面になり
ます。

トナーエント”
* テイシ

- 5 ↑・↓スイッチで設定したい選
択肢を表示します。
ここでは継続に設定します。

トナーエント”
ケイソ”ク

- 6 設定スイッチで確定します。

トナーエント”
* ケイソ”ク

ブザー音 [ブザー]

エラーが発生したときにブザー音を鳴らすかどうかを設定します。

選択肢

OFF

ON

工場出荷値 ON

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セメントレイ サイズ

- 3 ↑・↓スイッチで
「フザー」を選択します。

メニューコウモク
フザー

- 4 →スイッチを押します。
ブザー音の選択画面になります。

フザー
* O N

- 5 ↑・↓スイッチで設定したい選
択肢を表示します。
ここではOFFに設定します。

フザー
O F F

- 6 設定スイッチで確定します。

フザー
* O F F

出荷値に戻す [シュッカチニモード]

現在設定されている初期値を、すべて工場出荷時の値に戻します。

選択肢

「シッコウ」以外にありません。

工場出荷値は以下の通りです。

前面トレイサイズ	ドライバー
コピー枚数	ドライバー
タイムアウト	5分
パワーセーブ	30分
トナーエンド	停止
ブザー	ON

メニュー操作

- 1 印刷不可状態にします。

V 1 . 0 0

- 2 設定スイッチを押します。
モード設定の画面になります。

メニューコウモク
セメントレイ サイズ

- 3 ↑・↓スイッチで「シュッカチ
ニモト”ス」を選択します。

メニューコウモク
シュッカチニモト”ス

- 4 →スイッチを押します。
出荷値に戻すの選択画面になります。

シュッカチニモト”ス
シ”ッコウ

- 5 設定スイッチを押すと工場出荷
時の値に戻します。

シュッカチニモト”ス
シュウリョウ

給紙選択について

操作パネルを使って給紙部（どこから給紙するのか）を選択します。

プリンターの給紙選択の設定は次のようになっています。
特に必要がない場合は初期値のままご使用いただけます。
給紙部の設定は、当該印刷のみ有効です。印刷終了後は、ドライバー設定優先に戻ります。

選択肢

ト”ライバ”ー
ジ”ト”ウ

システム・ユニットからの設定に従います
システム・ユニットから指定した用紙サイズにあわせてプリンタ側が自動的に給紙部を選択します

セ”ンメントレイ
カセット1
カセット2

初期値

ト”ライバ”ー

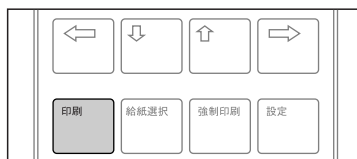


給紙部の指定はプリンター本体とシステム・ユニットの両方で行えます。設定内容はプリンター本体の設定が [ドライバー] になっているときだけシステム・ユニット側の設定値が有効になります。その他の設定をプリンター本体で行った場合にはシステム・ユニット側の設定は無視されます。ただし、当該印刷の1ジョブが終了するとシステム・ユニット側の設定優先に戻ります。5枚のデータを3部マルチ・コピーで印刷しようとした場合、システム・ユニット側の給紙設定がカセット1で、プリンター本体をカセット2にセットした場合、最初の5枚（1ジョブ）はカセット2から印刷され、後の5枚×2はカセット1から印刷されます。

複数部を印刷する際の給紙部指定は [ドライバー] で行うことをおすすめします。

操作の手順

1 印刷不可状態にします。



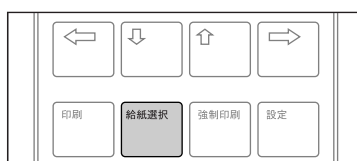
V 1 . 0 0

2 給紙選択スイッチを押します。 モード設定の画面になります。

プリンターがエラー状態だったり、印刷データが残っている状態や印刷処理中の場合には、給紙選択スイッチは操作できません。このような場合には、エラー状態を解除したり、強制印刷またはリセットを行ってください。

エラー状態を解除する方法は「異常時の診断」を参照してください。

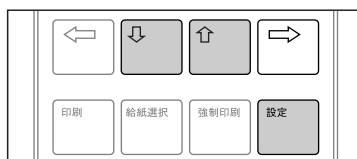
強制印刷の方法は「残ったデータを強制的に印刷するには」を、リセットの方法は「リセット、印刷の取り消しをするには」を参照してください。



キュウシ センタク
* トライハ"ー

3 選択肢を選びます。 ↑スイッチ、または↓スイッチで 選択肢を選びます。設定スイッチ で確定します。

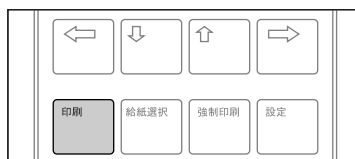
確定すると選択肢の前に*マークが付きます。



キュウシ センタク
* カセット 1

C 1

- 4 印刷スイッチを押します。
印刷可能状態になります。



インサツ カノウ

高度な印刷

ここではプリンターを使いこなしていただくための高度な印刷設定や、プリンターの状態通知等についてオペレーティング・システムごとに

- Windows 95 編
- Windows NT 編

に分けてご説明しますので、ご使用の環境により必要なページをご参照ください。

Windows 95 編ではプリンターを使いこなしていただくための各機能を設定するプリンター・ドライバの設定方法、プリント・マネージャーにより表示されるアイコンの意味などをご説明します。

Windows NT 編はプリンターを使いこなしていただくための各機能を設定するプリンター・ドライバの設定方法についてご説明いたします。

本章の内容をマスターしていただければ Windows の各環境でプリンターの機能を最大限に活かしてご使用いただけます。

プリント・マネージャーは Windows 95 でご使用いただけます。

Windows NT 用のプリンター・ドライバには含まれていません。

また高度な印刷に掲載されている図や手順は、オペレーティング・システムのバージョン等の違いによって異なる場合があります。

Windows 98 をご使用のお客様は、Windows 95 編をご参照ください。

Windows 95 編

プリント・マネージャー

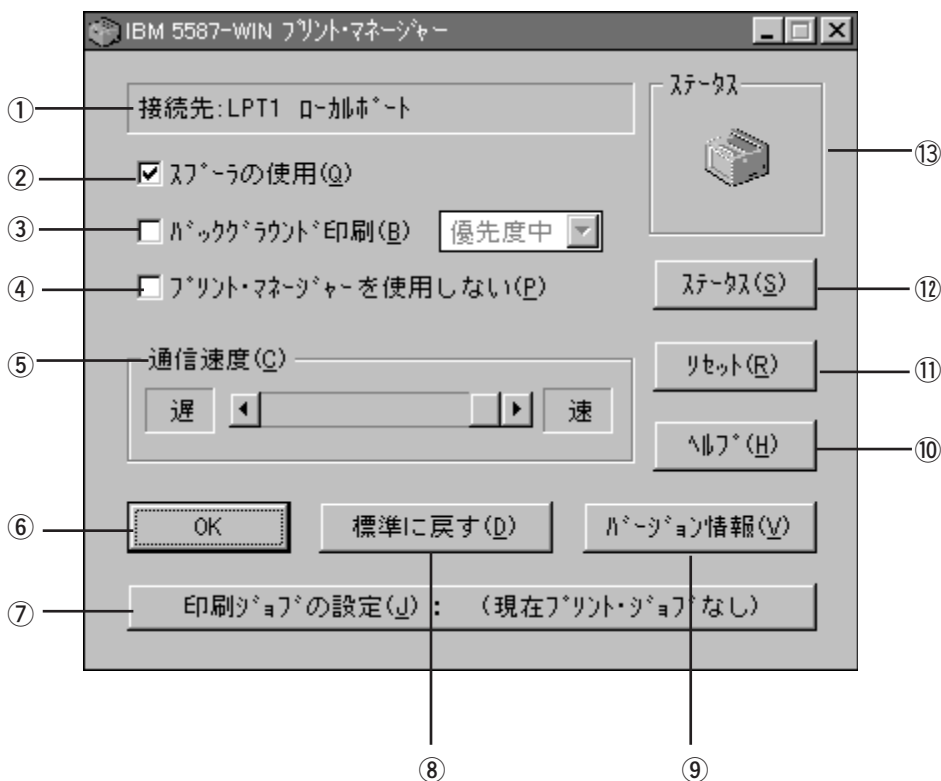
画面右下にいつも表示されている



がプリント・マネージャーです。

プリント・マネージャーは印刷起動時などのタイミングでプリンターの状態を確認し、ステータスに反映します。また、高速転送モードでプリンターに印刷データを転送するので、ローカル接続時には大変便利な機能です。

ダブル・クリックすると以下のダイアログ・ボックスが表示されます



①から⑬を次ページからご説明します。

[OK] をクリックすると



アイコン状態に戻ります。

プリント・マネージャーはローカル接続時にのみ有効です。
ネットワーク接続されている場合は、ご使用いただけません。

①接続先

プリンターの接続先を表示します。

②スプーラーの使用印刷

ジョブをスプールしてプログラムの印刷処理を高速に行います。

③バックグラウンド印刷

印刷中でも、アプリケーションを動作可能にするオプションです。

ここがチェックされていない時には、CPUの処理のすべてをプリンターによる印刷に振り分けます。チェックしておく、CPUの処理の一部を印刷に振り分けます。振り分ける割合を調整するのが右横のプルダウン・メニューです。

優先度小

プリンターへのCPUの占有時間を小さくします。アプリケーションが相対的に優先実行されます。

優先度中

プリンターとアプリケーションとCPUの占有時間をほぼ同じにします。

優先度大

プリンターによる印刷を優先します。

④プリント・マネージャーを使用しない

プリント・マネージャーを使用しないようにします。

このチェック・ボックスをチェックした場合、Windows が標準で提供するプリントマネージャが使用されます。

本プリンターがローカル接続されていない時や、出力先に [FILE] を指定した場合は、このチェック・ボックスをチェックしてください。

⑤通信速度

プリント・マネージャーは接続されているシステム・ユニットとの間で最高の速度でデータが転送できるように設定されています。

通常はこの設定を変更する必要はありませんが、通信がうまく行かない場合は通信速度を下げてください。

⑥OK

設定を終了する場合にクリックします。

このボタンをクリックするとアイコン状態に戻ります。

MEMO

「プリント・マネージャーを使用しない」と設定し、システム・ユニット側で印刷のキャンセルを行った場合は、プリンター本体も操作パネルにてリセットしてください。リセットをしないと次の印刷が正しく開始できません。

⑦印刷ジョブの設定

印刷指示を実行すると現在印刷処理がされているジョブが表示されます。
印刷を取りやめたり、一時停止したい場合は⑦をクリックすると印刷ジョブの情報が表示されます。



ジョブを選択し、一時停止、取りやめ等のボタンをクリックします。
OKボタンを押すとプリント・マネージャーのダイアログに戻ります。



印刷を取りやめたい場合には印刷ジョブにカーソルを合わせて左クリックし、[取りやめ] を選択します。

[一時停止]、[再開] の使用方法も同じです。

⑧標準に戻す

すべての設定を工場出荷時に戻します。

⑨バージョン情報

プリント・マネージャーのバージョン情報を表示します。

⑩ヘルプ

プリント・マネージャーに関するヘルプが表示されます。

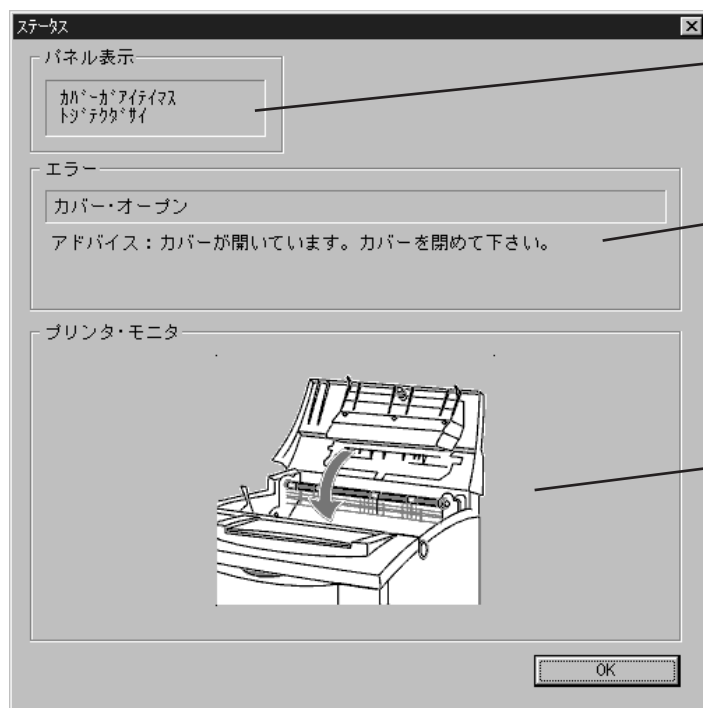
⑪リセット

プリンターをリセットします。

LANカード・オプションをプリンタに搭載している場合、LANカード経由で印刷が行われているとリセットはかかりません。

⑫ステータス

プリンターの状態を表示します。



プリンターの操作パネル
に表示されているメッ
セージが表示されます。

エラーの状態を表示しま
す。


プリンターの状態が表示
されます。

⑬ステータス

プリンターの状態をアイコンで表示します。

次に示すようにアイコンにはいろいろな種類があります。

アイコン	状態／→対処*1
	プリント・マネージャーのニュートラル状態を示します (プリンターの状態を認識していない状態です*2)
	システム・ユニットとプリンターは正常に通信しています
	プリンター・ドライバーが作成したスプール・データをプリント・マネージャーが取り込んでいます
	印刷データをシステム・ユニットからプリンターへ転送中です
	プリント・マネージャーで印刷ジョブの一時停止が行われたことを示します →一時停止を解除してください
	プリンターからの応答がありません →「異常時の診断と日常の取り扱い編 異常時の診断」
	プリンターが印刷不可状態です →「基本操作編 操作パネルの使い方」
	プリンターにオプション・ボードが搭載されており、他のポートが印刷中です →しばらく経ってから印刷してください
	システム・ユニットとプリンターの間で通信エラーが発生しました →頻繁に発生する場合は、通信速度を下げて下さい
	プリンターで紙詰まり (JAM) が発生しています →「基本操作編 知っておきたい印刷操作」
	給紙部に用紙がないか、カセットがセットされていません →「基本操作編 基本的な印刷手順」
	用紙のサイズが間違っているか、指定用紙が給紙部にありません →「基本操作編 基本的な印刷手順」

アイコン	状態／→対処*1
	E Pカートリッジがセットされていません →「基本操作編 知っておきたい印刷操作」
	プリンターのカバーが開いています →「異常時の診断と日常の取り扱い編 異常時の診断」
	サービスマンコールが発生しています →「異常時の診断と日常の取り扱い編 異常時の診断」
	古いDOSのバージョンでは動作しません →MS-DOS 5.0/V以上でご使用ください
	古いWindowsのバージョンでは動作しません →Windows 95またはWindows NT 3.51以上でご使用ください
	パソコンのメモリが不足しています*3 →「推奨動作条件」
	Windowsが386エンハンスド・モードで動作していません →Windowsのマニュアルを参照ください
	スプール・データがハードディスクの空き容量を超えたことを示します →「推奨動作条件」
	プリンター・ドライバーもしくはプリント・マネージャーが正しくインストールされていません →再インストールしてください

- * 1：対処方法または対処方法の参照項目が記載されています。
- * 2：プリント・マネージャーがプリンターの状態を認識するのは、印刷起動時とプリント・マネージャーのステータス・ボタンをクリックしたときです。パソコンを起動した状態ではプリンターの状態を確認していないのでニュートラル状態のアイコンが表示されます。
- * 3：双方向通信を行っていない場合、プリンター・ドライバーの設定でプリンターのメモリ・サイズがきちんと設定されていないと表示されることがあります。



LANカード・オプションを装着しているときには、ステータスを表示したままにしないでください。
表示したままになっていると、プリント・マネージャーがプリンタを占有してしまい、LANカード・オプションからの印刷が開始できなくなります。

Windows 95 のプリンター・ドライバーの設定

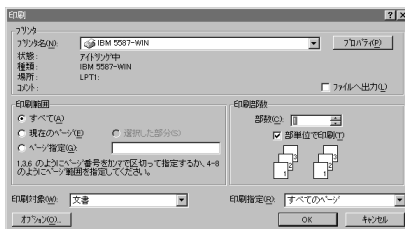
Windows 95 のプリンター・ドライバーの設定には次に示す画面で行います。
基本的には、印刷起動時に表示されるプリンターのプロパティかプリンターの設定等をクリックする事により表示されます。
表示方法がわからない場合は、ご使用のアプリケーションのヘルプ・ファイルやマニュアルをご参照ください。
また、プリンター本体のオペレーション・パネルで設定できる項目については、どちらか一方を設定してご使用になられることをお奨めします。
以下プリンター・ドライバーの詳細設定についてご説明します。

応
用
操
作
編

高
度
な
印
刷



プリンターのプロパティをクリックします。



プリンター・ドライバーの用紙設定画面が表示されます。



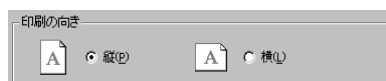
[用紙サイズ] の設定

ここで設定した値はご使用のアプリケーションに反映されます。また、用紙サイズで不定形を選択すると、右のダイアログ・ボックスが表示されるのでミリメートル単位で値を設定して下さい。用紙サイズと印刷保証領域については「付録 付録A 用紙について」を参照ください。



[印刷の向き] の設定

用紙の長辺をデータに対して縦にとるか横にとるかを設定します。ここで指定できるのはカセットにセットできる用紙サイズです。



[縮小／拡大] の設定

定形用紙サイズ以外への出力（任意の倍率）はできませんのでご注意ください。ここで縮小／拡大を設定すると、アプリケーションで選択できる用紙サイズが設定されます。



- ・ 86% A3→B4, A4→B5 を選択した場合
本プリンターがサポートする定形用紙サイズになる用紙サイズは、“A3”か“A4”です。よって、アプリケーションが選択できる用紙サイズはA3かA4になり、出力される用紙サイズはA3の場合B4、A4の場合B5になります。
- ・ A4サイズで作成したデータをA4サイズに86%縮小で出力といったことは本プリンターの縮小／拡大機能では出力できません。アプリケーションの機能をご利用ください。

[レイアウト] の選択

アプリケーションで作成したデータがA4、B5、A5サイズの場合、複数ページ印刷が出来ます。

それぞれのパターンで次のように印刷されます。



標準



パターンA



パターンB



パターンC



パターンD



パターンE



パターンF



サイズは以下の通りとなります。

A 4 サイズのデータ→A 3 サイズの用紙に印刷

B 5 サイズのデータ→B 4 サイズの用紙に印刷

A 5 サイズのデータ→A 4 サイズの用紙に印刷

複数ページ印刷には、2 ページ印刷と 4 ページ印刷があります。

2 ページ印刷

2 ページ分のデータをならべて印刷することが可能です。

データのサイズは原寸のままとなります。

4 ページ印刷

4 ページ分のデータをならべて印刷することが可能です。

データのサイズは70%縮小となるため、データサイズにより印刷する用紙のサイズを変更する場合には、縮小/拡大率と組み合わせてご使用ください。

印刷する用紙のサイズを変更する場合には縮小/拡大率と組み合わせてご使用ください。

[給紙方法] の設定


自動選択：印刷する用紙サイズを自動的に各給紙部から探し出して印刷します。

その他の各トレイを選択した場合は、指定されたトレイから給紙します。指定した給紙部に印刷データにあった用紙サイズがセットされていないと用紙サイズエラーとなります。

「基本操作編 基本的な操作手順」もあわせてご参照ください。



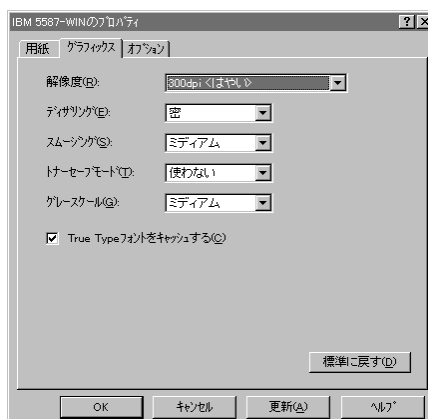
[バージョン情報] ボタン
プリンター・ドライバーのバージョンを表示します。

A rectangular button with a thin border and a light gray background. The text "バージョン情報(V)" is centered in a dark gray font.

[標準に戻す] ボタン
用紙に関する設定をすべてプリンター・ドライバーの標準の値に戻します。

A rectangular button with a thin border and a light gray background. The text "標準に戻す(D)" is centered in a dark gray font.

グラフィックス・タブをクリックするとプリンター・ドライバーのグラフィックス設定画面が表示されます。

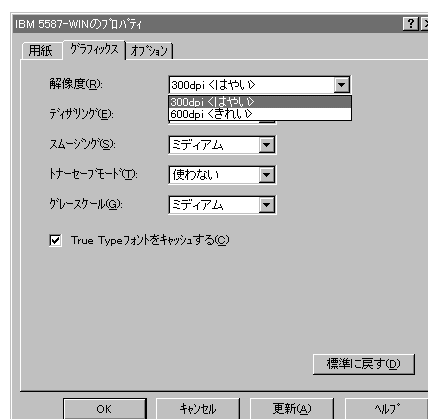


[解像度] の設定

印刷する解像度は 300 dpi と 600 dpi が選択できます。

印刷データによっては、プリンターのメモリーを拡張する必要があります。

詳細は「付録 A 用紙についてのメモリー・サイズと用紙サイズ、解像度の関係」をご参照ください。



[ディザリング] の設定
階調を表現するときのパターンを
設定します。



粗

通常の印刷時に使用します。グラフィックスの印刷時に、薄めに印刷されることがあります。

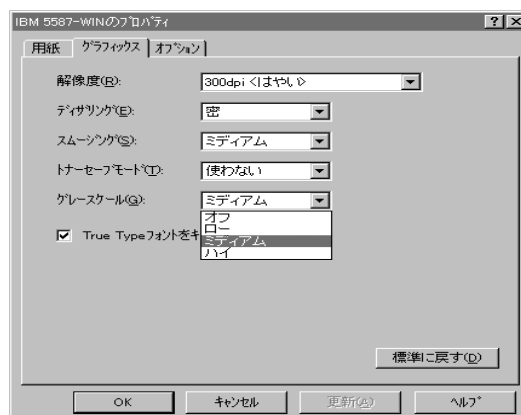
密

通常の印刷時に使用します。グラフィックスの印刷時に、濃いめに印刷されることがあります。

ラインアート

グラフィックス等で色指定されたパターンの印刷時に、濃いめに印刷される場合は、このモードを選択してください。

[グレースケール] の設定
文字の階調を表現するときの段階を選択します。



オフ 階調を使いません（白か黒で印刷されます）

ロー

ミディアム

ハイ



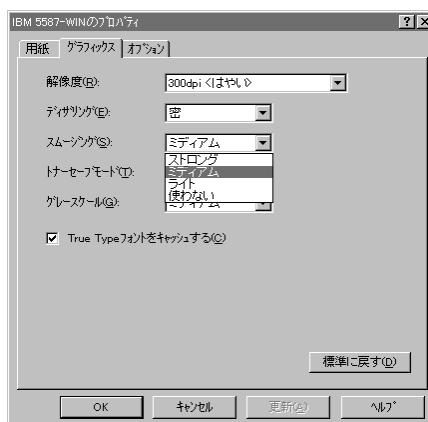
下へ行くほど多くの階調を表現できます。

「スムージング」の設定

スムージングとは、キャラクターやグラフィックスのギザギザを滑らかにする機能です。これを設定することにより300dpiで600dpi相当、600dpiで1200dpi相当の印刷が可能となります。

スムージングは以下の4つの選択項目がありますので、用途に合わせて一番よい設定をお使いください。

- ストロング
- ミディアム
- ライト
- 使わない



「トナーセーブモード」の設定文字および印刷イメージのドットを間引くことでトナーの使用量を調整することができます。以下の4種類の選択項目があります。

- ダーク
- ミディアム
- ライト (トナー使用量が最小)
- 使わない



[True Type フォントをキャッシュする] の設定

この項目を選択すると、True Type フォントの生成がフォントキャッシュにより高速に行われます。

True Typeフォントをキャッシュする(C)

[標準に戻す] ボタン

グラフィックスに関する設定をすべてプリンター・ドライバーの標準の値に戻します。

標準に戻す(D)

オプション・タブをクリックするとプリンター・ドライバーのオプション設定画面が表示されます。

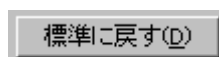


[拡張メモリー・サイズ] の選択

プリンターに搭載されている拡張メモリー・サイズを選択します。プリント・マネージャーを使っている場合は自動的に設定されます。



[標準に戻す] ボタン
オプションに関する設定をすべてプリンター・ドライバーの標準の値に戻します。



Windows NT 編

プリンター・ドライバーの設定

Windows NT用のプリンター・ドライバーは、オペレーティング・システムが提供するユニバーサル ドライバとともに動作しますので、Windows 95 とは操作性や設定方法が異なります。

Windows NT は、オペレーティング・システムが仮想的にプリンターを作成し、アプリケーションは仮想プリンターの設定が実際のプリンターと違っていると用紙サイズエラー等が発生することがあります。

Windows NT 環境で快適にプリンターをご使用いただくためには、印刷を開始する前にプリンターの状態(セットされている用紙サイズ等)を設定してください。

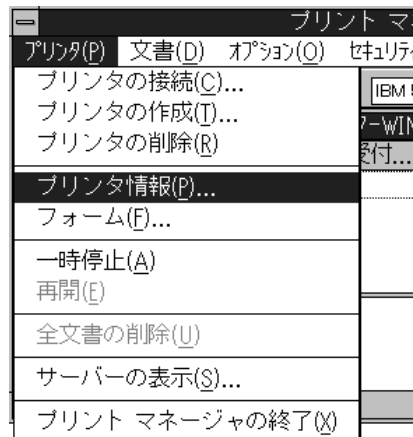


- Windows NTのプリンター・ドライバーには、[縮小/拡大] の設定、[レイアウト] の設定はありません。
- システム・ユニット側で印刷のキャンセルを行った場合は、プリンター本体も操作パネルにてリセットしてください。リセットをしないと次の印刷が正しく開始できません。

Windows NT 3.51 での設定

Windows NT 3.51 でのプリンターの設定は [プリント マネージャ] で行います。本プリンターを快適にご使用いただくために、この設定は正しく行ってください。

- 1 プリント マネージャを開き [プリンタ] の [プリンタ情報] を選択します。

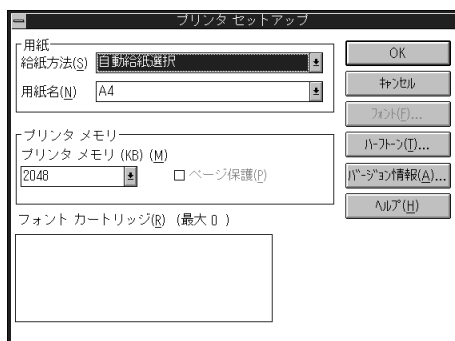


- 2 この画面の [設定]、[詳細] と [ポート設定] でプリンターの設定を行います。



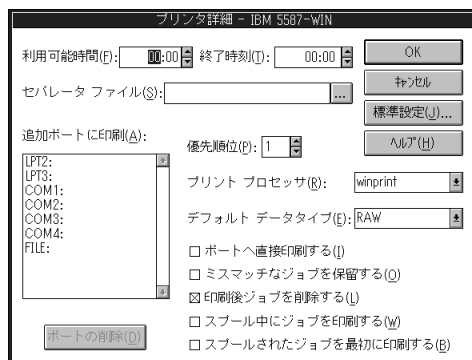
[設定]

給紙部とセットされている用紙サイズの関連づけをします。プリンター・ドライバーのインストール時に設定した内容が変更になった場合に使用します。[ハーフトーン]、[フォント]等その他の設定はオペレーティング・システムのヘルプやマニュアルにしたがい必要に応じて設定してください。



[詳細]

[標準設定] 以外の設定は、特に必要がない限り、初期値のままご使用いただけます。変更する場合はオペレーティング・システムのヘルプやマニュアルにしたがってください。[標準設定] を設定することでプリンターの印刷設定が行えます。ここでの設定は、アプリケーションから印刷するときの印刷属性に反映されます。



[詳細] - [標準設定]

[用紙]、[印刷の向き]、[印刷部数] を必要に応じて設定します。[オプション]、[ハーフトーン] 等その他の設定はオペレーティング・システムのヘルプやマニュアルにしたがってください。



Windows NT 4.0 での設定

Windows NT 4.0 の設定は本プリンターの [プロパティ] や [ドキュメントの既定値] で設定します。

[プロパティ] で設定する内容がオペレーティング・システムが作成する仮想プリンターになりますので、この設定は正しく行ってください。

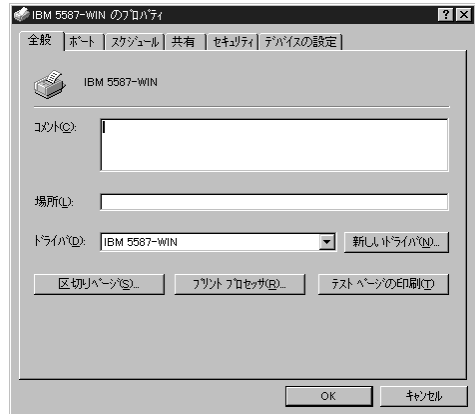


[設定] の [プリンタ] でダイアログを開き、本プリンタを選択します。

カーソルを合わせたまま右クリックすると、選択できる内容が表示されます。ここで、[プロパティ] [設定] の [プリンタ] でダイアログを開き、本プリンタを選択します。

カーソルを合わせたまま右クリックすると、選択できる内容が表示されます。ここで、[プロパティ] または [ドキュメントの既定値] を選択し、それぞれの内容を設定します。を選択し、それぞれの内容を設定します。

[プロパティ] を選択すると右の画面が開きます。
プリンターの設定は [デバイスの設定] で行います。
[デバイスの設定] タグを選択します。

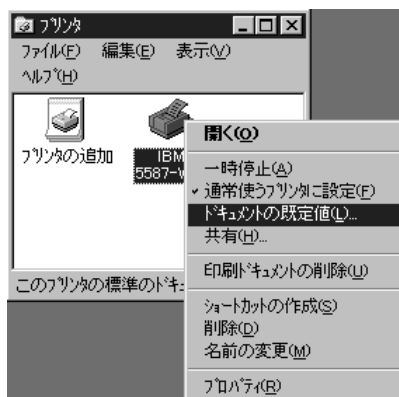


[給紙方法と用紙の割り当て] で各給紙部にセットされている用紙サイズを設定します。
上段で給紙部を選択し、下段で用紙サイズを選択します。
設定ができれば [OK] をクリックします。



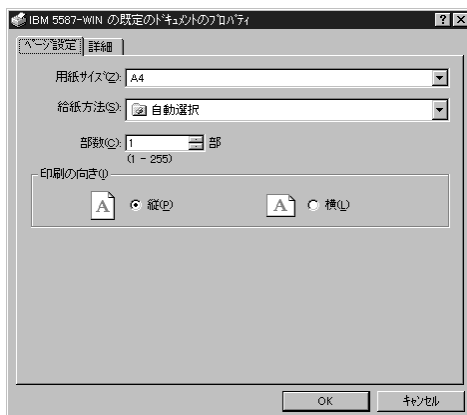
[設定] の [プリンタ] でダイアログを開き、本プリンタを選択します。

カーソルを合わせたまま右クリックすると、選択できる内容が表示されます。ここで、[ドキュメントの既定値] を選択し、それぞれの内容を設定します。



[ドキュメントの既定値] を選択すると左の画面が開きます。ここで設定した値は、アプリケーションから印刷するときの印刷属性に反映されます。

[詳細] のタブを選択します。



[詳細] を選択すると右の画面が開きます。

プリンターの設定は [用紙/出力], [グラフィックス], [ドキュメントのオプション] で行います。



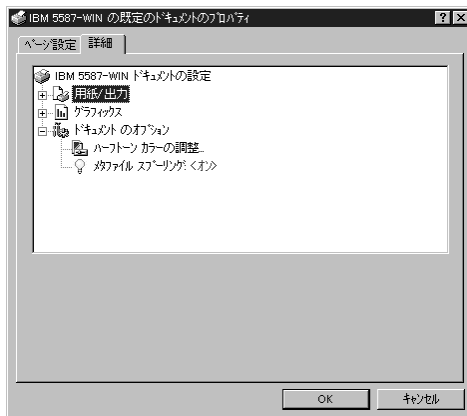
[用紙／出力] の **+** をクリックし [用紙サイズ]、[印刷の向き]、[給紙方法]、[部数]、[印刷部数] を必要に応じて設定します。設定が終わったら [OK] をクリックします。



[グラフィックス] 設定はオペレーティング・システムのヘルプやマニュアルにしたがい必要の応じて設定してください。



[ドキュメントのオプション] 設定はオペレーティング・システムのヘルプやマニュアルにしたがい必要の応じて設定してください。



ネットワーク印刷でのご注意

ここではネットワーク印刷を行う場合の注意事項を説明します。

プリント・マネージャーは使用できません。

本プリンターを Windows 95 の「共有プリンタ」として使用する場合は、L A Nカード・オプションを装着してネットワーク印刷を行う場合は、プリント・マネージャーのダイアログ・ボックスにある「プリント・マネージャーを使用しない」のチェック・ボックスをチェックしてください。



「共有プリンタ」として使用する場合は、プリンターとローカル接続しているシステム・ユニットでも「プリント・マネージャーを使用しない」のチェック・ボックスにチェックしてください。

見出しページ（区切りページ）に関する制限

見出しページの印刷では英数字のみで、カタカナ等は印刷されません。

カタカナ等の部分は”・”として印刷されます。

印刷可能な用紙サイズは A 3、B 4、A 4、リーガル、レターです。

これらの用紙がプリンターにセットされていない場合は、「シテイヨウシナシ」のエラーが発生します。この場合は必ず A 4 の用紙をプリンターにセットしてください。

A 3、B 4 の場合は印刷方向はタテ、A 4、リーガル、レターの場合はヨコとなります。



ネットワークで印刷する場合に、見出しページ（区切りページ）の印刷を行うと印刷速度が遅くなったり、データ転送エラーになることがあります。

その際は見出しページ（区切りページ）の設定を OFF にして下さい。ネットワーク・ソフトウェアのメーカーやバージョンによって、設定する場所が異なりますが、ネットワークのプロパティ、プリンタのプロパティなどに設定があります。また Windows NT で NetWare 経由の場合はコントロールパネルの NetWare に対するゲートウェイサービスや、クライアントサービスの設定に見出しページ（区切りページ）印刷の設定があります。

システム・ユニット側で印刷中のジョブのクリアや削除をしたら、必ずプリンター本体も操作パネルでリセットしてください。

システム・ユニット側でジョブのクリアを行うと、システム・ユニットはプリンターに印刷データの送信を停止してしまい、印刷ジョブを正しく終了できません。

次の印刷ジョブが正しく開始できるように、プリンター本体をリセットする必要があります。

LAN カード・オプションをご使用になる時の注意事項

LAN カード・オプションと 5587-WIN での双方向通信はサポートしておりません。LAN カード・オプションを装着する際には以下の点をご注意ください。

- LAN カード・オプションII をご使用になるお客様へ

「LAN カード・オプションII」に添付されている、ネットワーク・管理ツール「PrintWorks」は、本プリンターではご使用になれません。

- LAN カード・オプションIII をご使用になるお客様へ

LAN カード・オプションIII を 5587-WIN に導入する際には「インストール時に、LAN カード・オプションIII 側のパラレル動作モードを「compatible」に設定変更してご使用ください。変更方法は、「LAN カード・オプションIII 用サポート CD」の、LAN カード・オプションユーザーズマニュアル 6.2.telnet の章をご参照ください。

また LAN カード・オプションIII に添付されている、統合管理ユーティリティ「Network Utility」の機能のうち、本プリンターでの「プリンターステータスの取得」はご使用になれません。